



有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市協川新田町字前島970-100
TEL:0258-66-0070 FAX:0258-66-0447

クイーン倶楽部だより 2月号



1

2

来月は桃の節句 

手作りひし餅でお祝いしませんか？

新潟県胎内市にある中条農産の佐藤隆史さんはひな祭りに欠かせない菱餅を、もち米からこだわって栽培して加工しています。暮れから正月にかけてはお餅の製造。厳冬の2月は菱餅作り。

雪の新潟ならではの温かさが伝わる一品です。

- 1 一つ一つ手作り。食べてもおいしい菱餅が丁寧に作られています。
- 2 中条農産の佐藤隆史さん。

中条農産（なかじょうのうさん）

平成6年に一農家から稲作を中心とした農業生産法人を設立。人と自然にやさしい『安全・安心・健康』を第一に考え、施設野菜、餅加工等に取り組んでいる。

エコ・ライスには平成18年から生産者として参加。特産品の中条そばも中条農産で作られています。



ひな祭りセットを裏面で紹介しています

Dr中村のお米の話



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

第26回

アイスランドで考えた食糧自給

正月休みを利用してアイスランドに行ってきました。アイスランドは北極圏に接していて気候は厳しく、ほとんど農作業はできません。しかし、一人当たり国内総生産は2006年ではルクセンブルグ、ノルウェーに次いで世界第3位です。日本は16位くらいです。日本より金持ちです。そして、男性の平均寿命が世界一長いのです。そういうことに興味をそそられて訪問してみた次第です。

一週間滞在して強く感じたことを述べてみます。それは「輸入はしないぞ!」という強い姿勢です。経済破綻で輸入ができなくなったかもしれないですが、自前物で済ますという姿勢が見られます。一流ホテルの朝食バイキングでは、肉はなく、近海と川でとれた酢漬けの生魚と、トマト、キュウリ、それにキウイフルーツだけでした。ジャガイモは一口サイズの小物だけです。聞けば、トマトとキュウリはハウス栽培しているとのことでした。おそらくキウイフルーツもそうでしょう。一見豪華に見えるテーブルも冷静に見ると輸入品はほとんどありません。それでもアイスランドの食料自給率は限りなくゼロに近いそうですが、そうはみえません。

日本は明らかに輸入過剰です。一人当たりの収入が高いといえない日本人が、贅沢のための食の輸入をしているのは危険なものがあります。ここらあたりで食の確保を考えてみるべきでしょう。

二十一世紀は食糧確保の時代です。日本人はまず米から始めよ、で米輸入をしない宣言をしないとけません。せんべいは安い外米でよいでは駄目なのです。国内の米を余らせて値段を下げ、せんべいに回せるようにします。

「米の減反政策」という米を作らなかつたらお金をあげるといふ奇妙な反道徳的政策はそろそろ終了すべきです。安い輸入農作物をスーパーにお買い物という農民も心を変えねばなりません。これから農民は賢くなって自分で道を開くしかありません。小麦、大豆、落花生、生姜など中国産地の顔色をうかがう加工業者を助けてあげてください。